

経営比較分析表（令和6年度決算）

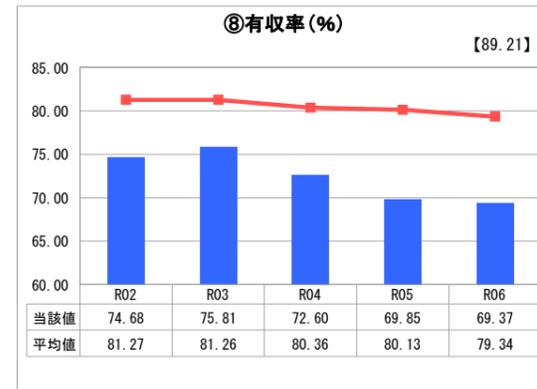
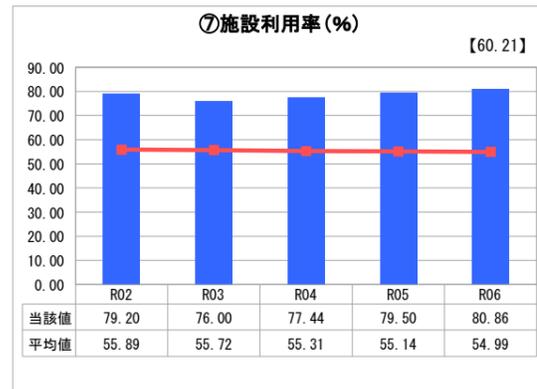
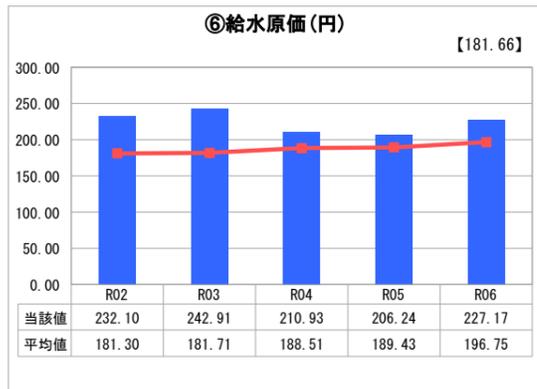
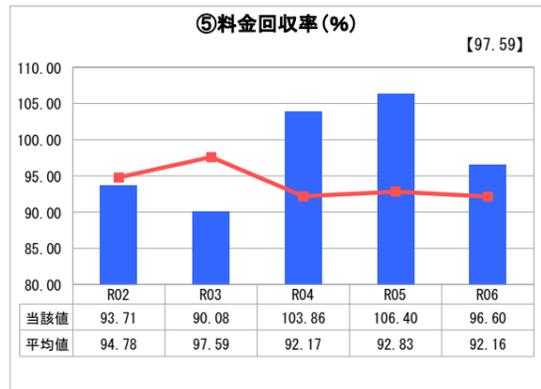
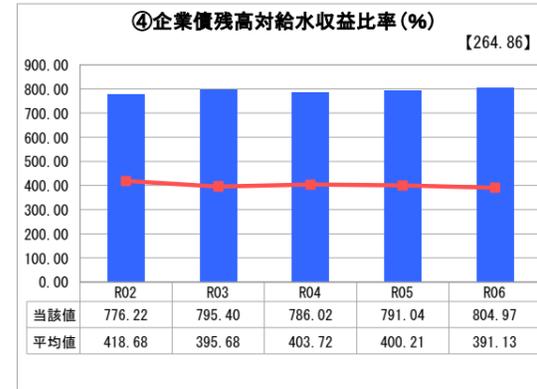
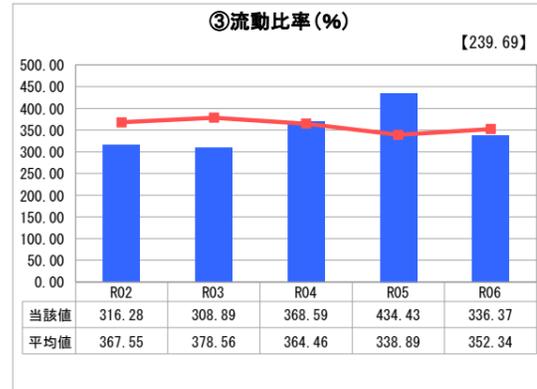
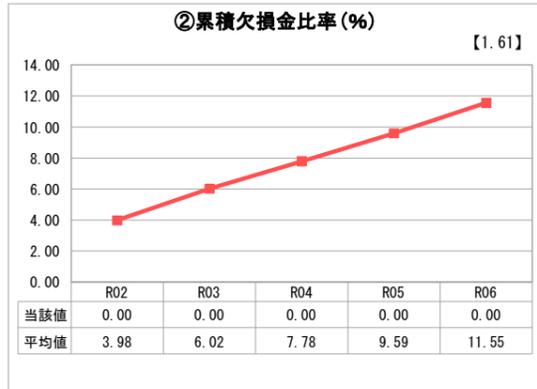
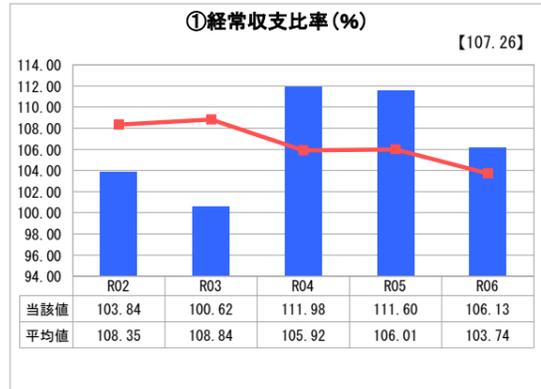
岩手県 陸前高田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	63.65	94.66	4,070	

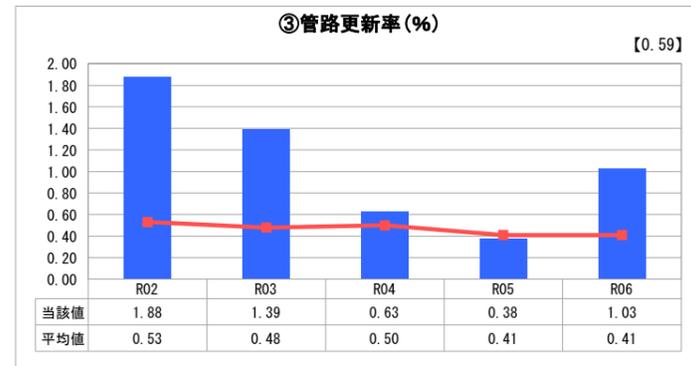
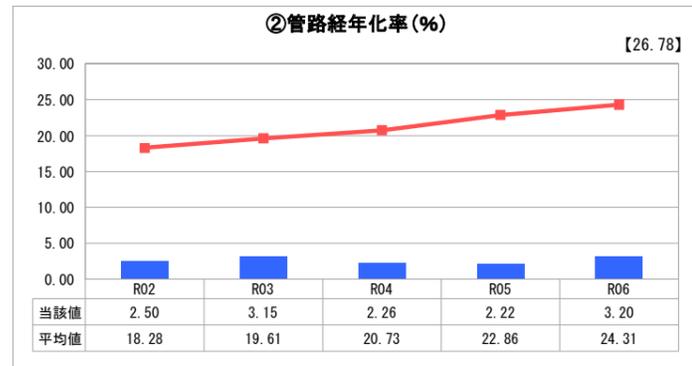
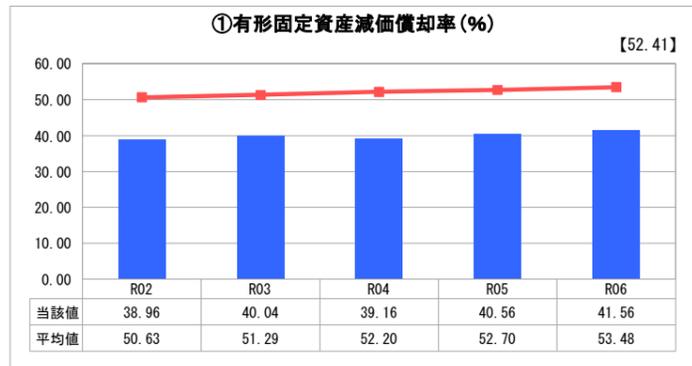
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,226	231.94	74.27
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
16,052	56.50	284.11

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 給水装置設置工事等に係る分岐手数料収入及び長期前受金戻入額の減少による経常収益の減、修繕費等の増加による経常費用の増により、経常収支比率は前年度を下回った。
 ② 累積欠損金は発生していない。
 ③ 流動資産は未収金及び前払金の増加、流動負債は未払金及び企業債の増加により、どちらも前年度を上回ったが、流動負債の増加率が上回ったため、流動比率は前年度を下回った。
 ④ 企業債残高対給水収益収益比率は、配水管布設工事に係る企業債の借入額が増加したことにより、前年度を上回った。
 ⑤⑥ 供給単価は前年度と同程度であったが、給水原価は、修繕費等の増加による経常費用の増により、前年度より20.93円上回り、それに伴い料金回収率も前年度を9.8ポイント下回った。
 ⑦ 施設利用率は、1日の平均水量が約103m³増加したことにより、前年度を上回った。
 ⑧ 有収率は、有収水量は昨年度に比べ微増ではあったが、管路修繕、更新工事に係る洗管作業及び山林火災等に係る消火栓使用による配水量が増加したため、前年度を下回った。今後は管路修繕及び更新工事を計画的に進めるため、徐々に改善する見込みである。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、固定資産情報の整理による減価償却率の増加により、前年度より1.0ポイント増加したが、類似団体を下回った。
 ② 管路経年化率は、漏水に係る修繕及び更新工事を優先したことにより、前年度より増加している。
 ③ 管路更新率は、前年度より繰越して実施した漏水に係る広範囲管路更新工事が完了したことにより、前年度を大きく上回った。

全体総括

・有収率については、前年度実施した漏水調査を基に修繕及び更新を進めることで、徐々に改善を図っていく。
 ・管路経年化率は、自然災害等の非常事態においても、水道施設の安全性及び重要施設等への給水の確保が求められることから、重要施設等へ供給する非耐震管及び老朽管に重点を置いて更新を進め、改善を図っていく。
 ・経常収支比率、流動比率、料金回収率、給水原価及び有収率と経営状況を示す指標が前年度に比べ悪化していること、また今後も物価上昇が見込まれることから、水道料金の改定を視野に入れつつ、経営の効率化及び健全化に努める。